

創立96年創立記念日を迎えて

生徒の皆さんへ、本日、創立96年の創立記念日を迎えました。

例年なら生徒たち皆さんの明るく元気な姿を迎えての粛々とした式典、芸術鑑賞となる一日なのですが、静寂に包まれた校舎の中、教職員のみでの寂しい記念式となりました。

さて、新型コロナウイルス対策から長期にわたる休校が続いています。

皆さんは、学ぶべき時間や自由に行動ができる機会を奪われ、見通しが見えない日々への苛立ちや不安が広がる状況の中で悶々とした日々を過ごしていることと思います。そして私たちが今まで経験したことのない生活を脅かす国難ともいえるべき状況の中、コロナウイルスと戦っています。

最悪の状況になると、人間は様々な出来ない理由を与えられた環境のせいにしてしまう弱さを持っています。反対に人間は当たり前に行っていたことがなくなってしまうと、気づけなかった大切なものを見つける能力と強さを持っています。

校訓「**感恩先苦**」は、いつも私たちに伝えています。

苦しい時にこそ、精一杯出来ることは何かを考え、やり遂げる力を培う「**先苦**」苦に向き合うことで普段感じることのできなかつた有り難く思うことを感じ取る、そして感謝の気持ちを表現し行動すること「**感恩**」。こんな時だからこそ、得られる貴重な経験を大切に今、できることを考え行動してゆく人になって欲しいと思います。

最後になりますが、淑徳高校は、皆さんの命と安全を守りながら、学校再開に向けて出来ること、やらなければならないことを考えています。その中には学校だけでは乗り越えられない大きな壁、課題もあります。家庭や地域での理解や協力も仰ぎながら、そして何よりもみなさん一人一人が自覚を持った行動を心がけることで課題は克服できると思っています。

学校で皆さんの素晴らしい笑顔（えがお）と元気な姿で再会できることを願っています。

令和2年5月1日
福知山淑徳高等学校
理事長 山口 剛